

令和3年度 東海市立富木島中学校 経営方針

1 経営理念

富木島中学校に通う生徒を、郷土の偉人である細井平洲先生の教え「学思行 相須」と良忍上人の教え「一人一切人、一切人一人」を实践する人間へと成長させるために、地域・保護者・教職員が協働して教育活動を展開するとともに、東海市民と東海市の進歩発展に貢献する。

2 経営方針

□地域・保護者と連携・協働する学校

□めざす生徒像に迫る教育活動を展開する学校

<めざす生徒像>

- ◆**自学**・自ら学ぶ態度をとる
- ◆**真心**・真心を行動で示す
- ◆**鍛錬**・進んで心身を鍛える

3 本年度の重点目標

<合い言葉> 「協働」「自学」「真心」「鍛錬」、四位一体で前進

◆「協働」……「地域の学校」としての役割を果たすために

○保護者、地域、関係諸機関と情報共有・連携し、合意形成を図りながら、教育活動を展開する。

◆「自学」……自ら学ぶ態度をとる生徒を育てるために

○「主体的・対話的で、深い学びが成立する」授業への転換を図る。

・級友との関わりを大切にされた授業を展開する。

○自学の習慣を育成する。

・授業との向き合い方や家庭学習を充実させる。

◆「真心」……真心を行動で示す生徒を育てるために

○道徳性を育むに資する道徳の授業を展開する。

・道徳的価値について議論できる授業を实践する。

○集団生活を送る上で大切にしたい心(思いやり、礼儀、責任等)を育む。

・日々の係活動・当番活動やボランティア活動に積極的に取り組ませる。

◆「鍛錬」……進んで心身を鍛える生徒を育てるために

○部活動や係活動に継続的に取り組ませ、粘り強さを培う。

・目標をもたせ、活動への参加を促す。

○「認める」「ほめる(支える)」「励ます」関わりを通して、たくましさ育てる。

・生徒指導の3機能、「共感的な人間関係」「自己決定の機会の提供」「自己存在感の育成」を意識して指導する。

◆多忙化解消に向けて

○校務の効率化を図る。

・資料のデータベース化やICTを積極的に活用する。

・チームとして、協力・連携して校務にあたる意識を高める。

○個々の校務との向き合い方を見つめ直す場面を設定し、働き方に対する意識改革を図る。